

開講時期	1年次通期	開講区分	日本語コース（午後）
科目名称	比較文化論		
担当講師	津山 隆雄	補助講師	—
開講曜日	木	時限	1
単位数	4	週時間（45分）	2
取得を目指す資格	必須		
	推奨		
授業概要・到達度目標	皆さんの日本での活躍ぶりは、日本語の能力如何にかかっています。比較文化論では、日本人のもの見方・考え方を中心に学びます。実際に声を出し、頭を使いながら日本語を学びます。つまり全身全霊で、読解・聴解・意見交流等に挑みます。その挑戦は全て皆さんの夢の実現のための道に繋がっています。		
授業計画	4月	調音練習、早口言葉、促音練習。四文字熟語、諺、慣用句の習得、教材をもとに読解・聴解・意見交流等に取り組みます。	
	5月		
	6月	教材の読解をもとにして、自分自身の経験と照らしあわせませす。意見交流しながら聴解能力を高めます。この過程から自分の主張が生まれてきます。そのことが、小論文を書く土台となります。	
	7月		
	8月	夏休み	
	9月	前期の流れを一層進化させます。教材は少しずつ難しくなり、読み応えが出てきます。従って、聴解・意見交流等にも時間を要することになります。	
	10月		
	11月	この時期になると日本語におけるコミュニケーション能力もかなり高いものになってきているはずです。それに合った教材に取り組みます。	
	12月		
	1月	教材をもとに自分の考えを主張する場を多く取り入れます。コミュニケーション能力を通して、自他の交流を深めます。	
	2月		
3月	春休み		
使用するテキスト	別途授業で配布する資料を使用します。教材を整理して大切に保管してください。復習や前期後期試験の時に大いに役立ちます。		
成績評価	出席率70%以上・授業態度・提出物・前期後期試験の結果により総合的に判断します。		
講師からのメッセージ	比較文化論では日本の文化を中心に学んでいきますが、それは日本語の能力を高めるためのものです。「実際に声を出すこと、日本語で表現しようと挑戦すること」を大切にしていきます。意思疎通のための手段としての日本語に親しみ、語彙を増やしていくことが、皆さんの目標に大きな支えになるはずです。		